

高温が続いているため、今後、ワキの発生に注意しましょう！！
いもち病の伝染源となる補植用苗は、直ちに処分しましょう！！

6月1日に仙台管区気象台から発表された1か月予報によると、今後の気温は平年並みと予想されています。田植え後高温が続いているため活着は良好ですが、ワキの発生に注意し、水交換を早めに行い、分けつの発生を促しましょう！

ワキ（土壌の異常還元）対策



～ 人間の口にあたる、『根っこ』
ここが弱ると、生育は大きく停滞します！ ～

1 水交換や、一時的な落水管理（2日程度）を行い、根の健全化を図ります。

2 今月中に目標茎数が確保されたら、すみやかに落水して作溝・中干しを行いましょう。

【表 品種別の目標茎数の目安】

品 種	目標とする1株あたりの茎数	
	70株植/坪	80株植/坪
は え ん き	22～24本	19～21本
つ や 姫	19～21本	17～19本
コシヒカリ	19～21本	17～19本
ひとめぼれ	23～25本	20～22本
あきたこまち	21～23本	18～20本

【東北地方 1か月予報】

6月 2日～7月 1日
期間の前半、数日周期で天気が変わる
<気温の予報>
6/ 2～6/ 8：平年並みの確率50%
6/ 9～6/15：平年並みの確率40%
6/16～6/29：平年並みの確率40%

昨年は、ワキにより、
生育・茎数確保が遅れ、
収量にまで影響が及びま
した！！



葉いもち病斑

いもち病対策



～ 補植用苗を圃場に放置していませんか？ ～

補植用苗はいもち病の伝染源となります。自らの圃場だけでなく、周囲の圃場へも影響を及ぼします。圃場の見回りをを行い、直ちに処分しましょう。

箱施用剤による防除を行わなかった場合は、6月20日までに予防粒剤を散布しましょう。

カメムシ対策



カメムシは、イネ科植物などの雑草で増殖します。

農道や畦畔の草刈りを行い、生息密度を減らしましょう！



アヒゲホトトリカスミカ

農薬の使用に際しては、使用基準を再確認し正しく使いましょう...！

農薬情報は山形県が運営する農業情報サイト『やまがたアグリネット(愛称:あぐりん)』

<http://agrin.jp/>を参照ください。